

新製品
紹介低消費電力型プロセッサを搭載した
UNIX^{※1)}ワークステーション

クリエイティブステーション “3050RX/200” (左)と “3050RX/100C” (右)

クリエイティブステーション「3050RXグループ」に、一人一台の利用を目指した新2機種を加えました。PA-RISC^{※2)}アーキテクチャに基づき日立製作所が独自に開発したプロセッサ“PA/50L”を搭載し、低価格化・省電力化・省スペース化を実現しました。多数のワークステーションを利用しつつあるオフィス環境で威力を発揮します。

1. 主な特長

(1) デスクトップ型 “3050RX/200”

日立製作所従来機(PA7100搭載機)比約 $\frac{1}{3}$ の低消費電力を実現しました。

(2) カラーラップトップ型 “3050RX/100C”

省スペースかつハイパフォーマンスを実現しました。高精細TFTカラー液晶ディスプレイを採用しています。(3) HI-UX/WE2を採用し、アプリケーションソフトの互換性を確保しました。グループ合計14モデルで、CSSの多種多様なニーズに対応できます。

2. 主な仕様

「3050RXグループ」新2機種の主な仕様を表1に示します。(日立製作所 オフィスシステム事業部)

※1) UNIXオペレーティングシステムは、UNIXシステムラボラトリーズ社が開発し、ライセンスしています。

※2) PA-RISCは、米国Hewlett-Packard Companyの商標です。

表1 主な仕様

項 目		仕 様
機 種		3050RX/200
プロセッサ		3050RX/100C
MIPS		PA/50L (33 MHz)
キャッシュメモリ		42 MIPS
主メモリ		命令 8 kバイト, データ 4 kバイト
内蔵ハードディスク		16 Mバイト～144 Mバイト
内蔵リムーバブルディスク		240 Mバイト, 0.5 Gバイト, 1 Gバイト
ファイル系オプション(内蔵, 1台選択)		16 Mバイト～80 Mバイト
装置内蔵オプション		0.5 Gバイト
標準汎用インタフェース		フロッピィカルディスク, DAT, カセット磁気テープ
解像度		I/Oスロット1, オーディオインタフェースボード
ディスプレイ		SCSI-2×1, シリアル×1, Ethernet*×1, パラレル×1
モニタサイズ		1,024×768ドット/1,280×1,024ドット
表示方式		14インチ/17, 19, 21インチ
表示色		10.4インチ
外形寸法(幅×奥行き×高さ)		CRTディスプレイ
システム装置消費電力		TFTカラー液晶ディスプレイ
標準システム価格(税別)		16万色中256色
		512色中256色
		380 mm×403 mm×74 mm
		390 mm×340 mm×126 mm
		約35 W(基本構成)
		約60 W(基本構成)
		650,000円から
		1,350,000円から

注: * Ethernetは、富士Xerox社の登録商標です。

新製品
紹介

拡張性・効率性に優れた
中・小容量電子テレホンシステム



デジタル電子テレホンシステム「MVシリーズ」
(左から、主装置“MV-10”，“MV-20(基本)”，“MV-20(基本+増設)”，専用端末“MV-24MTB”)

オフィスでのボタン電話とPBXのリブレース，導入後の増設など容易に対応できる，拡張性を高めたデジタル電子テレホンシステム「MVシリーズ」を製品化し，“MV-10”および“MV-20”の2機種を発売しました。

従来機の「BS-D²シリーズ」を全面的にモデルチェンジしたもので，増設に対応する拡張性をはじめ，音声だけでなくデータ・画像等を融合させた複合通信との連携もできるなど，さまざまな付加価値を備え，効率も一段とよくなりました。

1. 主な特長

- (1) 1回線の内線線路にそれぞれ別の内線番号を持つ2台の電話機を接続し，両機とも独立して使用できる2W(ワイヤ)デジタルマルチ方式，回線の増設が容易にできるスタッカブル(積み重ね)方式(“MV-20”だけ)を採用しています。また，通話料金管理システムなどの使い勝手を向上させる機能を内蔵しています。
- (2) 自動通話録音，自動オペレータ機能などを搭載した音声メールシステム，テレビ電話，テレビ会議システムとの連携もできます。Ethernet[※]LANにも対応でき，経済的かつ効率的な電話システムを構築します。
- (3) 専用端末は，2線式デジタル多機能電話機，大型LCD付き2線式デジタル多機能電話機，およびハンドルコードレス2線式デジタル多機能電話機の3機種を新たに用意しました。

2. 主な仕様

「MVシリーズ」の主な仕様を表1に示します。
(日立製作所 情報通信事業部)

※) Ethernetは，富士Xerox社の登録商標です。

表1 主な仕様

項 目		仕 様		
機 種		MV-10	MV-20	
			基本	基本+増設キャビネット
標準収容回線数	局 線*	8 (20)	16 (32)	32 (64)
	内 線**	24 (24)	48 (80)	96 (128)
ポ ー ト 数		40	64	128
専 用 端 末 接 続 回 数		24	80	128
一 般 電 話 機 接 続 台 数		16	28	60
本 体 寸 法 および質量	幅 (mm)	250	425	425
	奥 行 き (mm)	290	290	290
	高 さ*** (mm)	450	490 (740)	790 (1,040)
	質 量**** (kg)	15	20	30
	本体標準価格(税別)*****	597,000円	1,083,000円	1,968,000円

注：* ()は最大数を示します。専用線などのオプション機器が搭載された場合，局線または内線が減少します。
** ()はすべての専用端末を，2Wマルチに接続した場合の最大数を示します。
*** ()内は増設バッテリー(3時間バックアップ)ボックスを使用した場合の値です。
**** 本体質量は蓄電池を含みません。
***** 標準収容回線数での価格です。電話機を含みません。

新製品
紹介

液晶ディスプレイを採用した
高画質パーソナルファクシミリ



美写文 “HF-TS5”

32階調ハーフトーンの高画質パーソナルファクシミリ「美写文シリーズ」の電話機接続タイプとして、コンパクトな“HF-TS5”を製品化しました。今回は新たに液晶ディスプレイを採用し、使用時の操作や送信先の確認など、使いやすさをいっそう向上させました。また、パーソナルユースを考慮した便利な機能を多数搭載しています。

1. 主な特長

- (1) 「32階調ハーフトーン」により、イラストや写真の入った原稿も鮮やかに送信・コピーができます。また、ITU-TS (国際電信電話諮問委員会) 準拠の「セミスーパーファインモード」を搭載し、同機能を持つ他社機と互換性を持つことができます。
- (2) 液晶ディスプレイに受信状態や操作内容などが表示されるので、簡単に使用できます。
- (3) A4サイズのコンパクトボデーでB4サイズ原稿の送受信とコピーが可能です。またオプションで「壁掛け」にもでき、場所に応じて置き方が選べます。しかも、現在使用している電話機をそのまま接続できます。
- (4) 高速コピー機能を採用しました。ハーフトーンまたは「小さな字」(ファインモード)の画質で、日立製作所従来機の約2倍の速さでコピーができます。
- (5) 受話機を取ってファクシミリ自動送信の音が出ている場合、間違って受話機を置いてしまっても自動的にファクシミリを受信します。

- (6) そのほか、電話・ファクシミリ自動切換、リモート受信機能、ファクシミリ情報などが受けられるポーリング受信機能、ペーパーセーブ機能など使いやすさを充実させました。

2. 主な仕様

美写文 “HF-TS5” の主な仕様を表1に示します。
(日立製作所 情報映像メディア事業部)

表1 主な仕様

項 目	仕 様
適 用 回 線	加入電話回線、ファクシミリ通信網 (Fネット 1,300 Hz対応)
符 号 化 方 式	MH, 独自
伝 送 モ ー ド	G3
伝 送 速 度	9,600ビット/s, 7,200ビット/s, 4,800ビット/s, 2,400ビット/s: 自動選択
電 送 時 間	自社: 約15 s (HF-TS5間)
中 間 調	あり (32階調)
原 稿 サ イ ズ	最大B4サイズ (257 mm × 364 mm)
電 話 機 接 続	可能 (2台)
消 費 電 力	7 W (待機時) ・ 130 W (動作時最大)
外 形 寸 法 (幅 × 奥行き × 高さ)	本体: 297 mm × 210 mm × 75 mm ゴム足, 突起部を除く。
本体標準価格 (税別)	68,000円

新製品
紹介

記憶容量が世界最大2 Gバイトの
5.25インチ書換型光ディスク駆動装置



“OD152”を搭載した光磁気ディスクユニット(電源内蔵タイプ)

マルチメディア時代を迎え、動画像や音声など膨大な情報量を収納するために、記憶装置が大容量で持ち運びしやすく、書換ができる光ディスクが求められています。そのため、日立製作所は世界最大の2 Gバイトの記憶容量を実現した5.25インチ書換型光ディスク駆動装置“OD152S/D-1”と、最大記憶容量388 Gバイトを実現した5.25インチ書換型光ディスクライブラリ装置「OL152シリーズ」を発売しました。

1. 主な特長

(1) “OD152S/D-1”

5.25インチハーフハイトサイズ(厚さ41.3 mm)で、現行(650 Mバイト)の約3倍の2 Gバイト(新聞4年分に相当の記憶容量)を達成しました。さらに高速化、低

消費電力化、および強力な防塵(じん)構造も実現しています。

(2) 「OL152シリーズ」

中・小規模システム用で、光ディスクカートリッジを最大60枚収納できるデスクサイドモデルと、大規模システム用で最大192枚収納できるトールモデルの2機種があります。記憶容量はそれぞれ最大121 Gバイト、388 Gバイトで、多様なシステムへの対応が可能です。

2. 主な仕様

“OD152S/D-1”と「OL152シリーズ」の主な仕様を表1に示します。

(日立製作所 ストレージシステム事業部)

表1 主な仕様

(a) 光ディスク駆動装置

項目	仕様	
型名	OD152S-I	OD152D-I
記憶容量(円板1枚)	2 Gバイト	
トラックフォーマット方式	ZCAV	
回転数	3,000 r/min	
平均アクセス時間	約50 ms	
データ転送速度	2~4 Mバイト/s	
SCSI転送速度	最大10 Mバイト/s(同期転送時)	
インタフェース	SCSI-2, SCSI-I	
外形寸法(幅×奥行×高さ)	146 mm×203 mm×41.3 mm	
サンプル価格(税別)	400,000円	400,000円

(b) 光ディスクライブラリ装置

項目		仕様		
型名		OL152-48	OL152-60	OL152-180
光ディスクカートリッジ収納枚数	基本	48枚	60枚	180枚
	最大	60枚		192枚
記憶容量	基本	97 Gバイト	121 Gバイト	363 Gバイト
	最大	121 Gバイト		388 Gバイト
光ディスク装置搭載台数		1~4台	1~2台	1~4台
平均アクセス時間	マウント	7.9 s		
	デマウント	5.9 s		
インタフェース		SCSI-2, SCSI-I		
外形寸法(幅×奥行×高さ)		490 mm×700 mm×700 mm		650 mm×700 mm×1,850 mm
サンプル価格(税別)		2,200,000円	2,400,000円	3,900,000円